

今月の特集関連本 ③

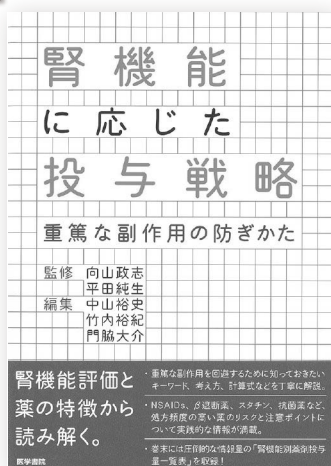


糖尿病の薬がわかる本

樹田 出＝著

本体 1,800 円＋税／A5 判・176 頁／医学書院／2015

同じように見える糖尿病患者さん、なぜ処方されている薬が違うの？なぜ、この薬は使わないの？飲み忘れた、服薬量を間違えた時の対応は？そんな糖尿病治療薬にまつわるさまざまな疑問を糖尿病専門医がわかりやすく解説。服薬指導・服薬管理だけでなく、食事をはじめとした生活習慣の改善・指導にも役立つ1冊。糖尿病治療薬の“もやもや”を解決します！



腎機能に応じた投与戦略

重篤な副作用の防ぎかた

向山政志、平田純生＝監修

中山裕史、竹内裕紀、門脇大介＝編

本体 5,800 円＋税／B5 判・400 頁／医学書院／2016

重篤な副作用を回避するために、医師・薬剤師が知っておきたいキーワード・考え方・計算式を、症例をあげながら具体的に解説。NSAIDs、β遮断薬、スタチン、抗菌薬など、処方頻度の高い薬のリスクと注意ポイントについて、実践的な情報を記載。

診療科別「危ない薬、使える薬」の第3章の糖尿病内科編では、インスリン、SU薬、SGLT2阻害薬などを取り上げた。腎機能を正しく評価するための「10の鉄則」と、圧倒的な情報量の「腎機能別薬剤投与量一覧表」を収載！上手な薬の使い方を導く。